

銅合金の鑄鍛造メーカー大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏）は9月11～13日にドイツで開かれるベルリンエアショーに参加する。ランディングギア用

大和合金

の素材などを紹介する予定。同社の航空機関連製品は国内向けが中心だったが、海外顧客からの受注も増え始めている。さらなる拡販を目指すため参加を決めた。

独・航空機関連展示会に参加

同社の航空機関連事業 航空会社など1千社以上はランディングギア向けが参加する大規模な展示が主力。ブッシュと呼ぶ。2年に1度開催される円筒形のアルミ青銅で2度目の参加。初回に出品を製造している。国 統いて、東京都産業労働

「規格取得によって世界に對しても拡販しやすくなっている。展示会でPRして、さらに商圏を広く期待す

銅合金ギア素材を紹介

海外展示会への出展を積極的に

内では大手航空会社向け局の支援を受ける。

っており、7月に開催さ

に整備用で納入実績を持つほか、10年からは中国の航空会社向けの出荷も始まっている。格であるJIS SQ910 Oを取得。同規格は欧州型材料、NC合金などを

ベルリンエアショーは航空機や部品メーカー、あり、萩野源次郎常務は

アピールした。

